

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 6名回答、回答率 100%
保護者様： 13名回答、回答率 65%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・利用児童数が多い場合は近隣の教室に応援をもらいながら、安全を担保している。
- ・クッション材を活用、設備の安全性を高めている。

○業務改善

- ・第三者評価を受け、その意見をもとに業務改善に努めている。
- ・非常勤職員を対象とした研修機会の確保に課題が見られた。

○適切な支援の提供

活動プログラムが固定化しないように、ミーティングで意見を出し合ったり、児童からのアンケートをもとに内容を決めている。また保護者の方々から頂いた意見から、個別課題の設定を行い、支援につなげている。

○関係機関や保護者との連携

- ・相談支援事業所や学校との情報共有を、引き続き行っていく。
- ・児童館や公園に行き、障がいのない子ども達や地域と関わる機会をさらに増やしていきたい。
- ・保護者の方々との連携については、送迎時や連絡帳にてその日の様子について共通理解を図っている。
- ・関係機関との連携強化が必要である。

○保護者への説明責任等

- ・定期的にニュースレターを発行し、教室での子ども達の様子を詳細をお伝えしている。
- ・業務前ミーティングにて、連絡帳や送迎時に保護者の方々から頂いた意見を共有している。
- ・保護者の方々からの苦情対応体制を見直していきたい。

○非常時等の対応

- ・様々な災害場面を想定して避難訓練を毎月実施し、職員の動きを確認している。
- ・虐待防止研修の機会を増やし、これまで以上に職員が意識した対応を実践したい。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・訓練室の広さについては8割以上方から問題ないとの評価をいただいた。
- ・バリアフリー化については検討の余地がある。

○適切な支援の提供

大半の保護者様から、活動プログラムや放課後等デイサービス計画について評価をいただき結果になった。活動プログラムにおいて、子ども達同士で話し合いをして決めたり、保護者の方々の意見を参考にして決める体制を、これからも継続して行っていきたい。改善点として、障がいのない子ども達との交流が少ないのご意見をいただいた。

○保護者への説明等

子どもの状況や課題について共通理解ができているか、育児に対する助言等の支援が行われているか、という項目では多くの方に評価をいただいた。送迎時や連絡帳での情報共有だけでなく、必要に応じて電話での対応も積極的に行っていきたい。

苦情対応、保護者の方々からの意見や連絡のスタッフ間で共有、保護者の方々同士の関わり支援について今後さらに改善を図りたい。

○非常時等の対応

非常時対応について、多くの保護者の方にマニュアル策定と周知についてご評価いただいている。

○満足度

ほとんどの保護者の方から、「楽しみにしている」「満足している」との評価をいただいた。

だが、職員の入れ替わり等で状況が変化した時期があったため、保護者の方々から環境の変化に対する不安や、安定した人員の確保についてのご意見もいただいた。

保護者の方々からの意見を真摯に受け止め、安心して通えるような教室づくりを改めて考えていきたい。



アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・活動プログラムが固定化しないように、保護者の方々や子ども達の意見を参考にして組み立てている。
- ・その日の子ども達の様子や発達の状況について送迎時、連絡帳、電話等で情報共有を行っている。

○改善点

- ・障がいのない子ども達や地域の人々に関わる機会を設ける。
- ・保護者の方々からの意見を、教室職員および会社全体で共有する。
- ・保護者会の実施など、保護者の方々同士の関わりの支援を行う。



中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・児童館や公園での活動を増やし地域の人との関わりを増やしていく。
- ・多くのご家庭が楽しめるイベントとなるような保護者会を実施し、保護者同士の交流を深める。
- ・いただいた意見や情報についての周知や対応体制を整える。

○1年間で取り組む具体策

- ・一か月に2回は児童館や公園へ行き、地域の方々に関わる場面を設ける。
- ・保護者会の案内を一か月前には保護者の方々に配布し、声掛けをする。親子療育の内容については、保護者の方々や子ども達からの意見も参考にし、より魅力的な活動にできるように対応する。
- ・新しい職員体制での教室運営に保護者の方々から信頼いただけるように、小さなことでも丁寧に保護者の皆さまに共有・報告を必ず行う。ミーティングや研修をより充実させ、職員間の情報共有を強化する。

スマートキッズ